

平成23年度日本小児腎不全学会評議員会議事録

日時：平成23年10月20日（木） 11:15～12:30

場所：ホテルアンビオ松風閣「白鷺・紅鶴」

出席者（敬称略）：長谷川昭（名誉会長）、相川厚、伊丹儀友、宍戸清一郎、白髪宏司、杉谷篤、高橋公太、高橋昌里、谷澤隆邦、都築一夫、野々村克也、服部元史、藤澤正人、本田雅敬、柳原俊雄、吉村了勇、和田尚弘（以上17名、欠席6名のうち委任状6名）

第33回日本小児腎不全学会高橋昌里会長の挨拶につづき、以下のように各議題が討議された。

議題

(1) 会計報告・予算案

平成22年度の会計報告ならびに平成23年度の予算案が事務局より報告された。会計報告が適正なことが監事である高橋(公)評議員と伊丹評議員によって報告され、平成22年度の会計報告と平成23年度の予算案が了承された。

(2) 会員動向

平成23年9月28日現在の会員数は、正会員443名、名誉会長2名、名誉会員9名であると事務局より報告された。正会員数が少しずつ増加しているが、その理由として、ホームページ(HP)開設で入会手続きが分り易くなったことや前回大会で筆頭演者は会員である必要性が周知徹底されたことによる可能性が示された。

(3) 名誉会員の推薦

関野宏先生と瀧正史先生が名誉会員に推薦され、了承された。

(4) 評議員の推薦

芦田明先生（大阪医科大学小児科）、飯島一誠先生（神戸大学医学部小児科）、香美祥二先生（徳島大学医学部小児科）が新評議員に推薦され、了承された。なお、来年の評議員会では、外科・泌尿器科系の新評議員を複数名推薦することとなった。

(5) 次々期会長の選定

第35回会長（平成25年度）に本田雅敬先生が推薦され、了承された。

(6) その他

1) 事務局より、学会雑誌作成費用に関して、雑誌のサイズをA4版に変更するなどして1ページあたりの単価が安く抑えられていると報告された。なお、有料別冊代やページ超過代の未納者には督促することが確認された。

2) 事務局より、第12回小児医学川野賞候補者推薦の依頼について案内があった。

3) 評議員会の代理出席の適否について討議され、代理出席は認めない方針が確認された。

4) 会員の職種（内科系医師、外科・泌尿器科系医師、看護師、その他のコメディカル）を把握する必要性が指摘され、来年の評議員会までに事務局が調査することとなった。

5) コメディカルの年会費について議論されたが、本件については引き続き検討することとなった。

6) 野々村評議員より学会賞の新設が提案され、討議の結果、次期学術集会より応募演題のなかから優秀演題賞として、内科系、外科・泌尿器系、コメディカル部門から各1演題（合計3演題）を選定することが決定された。選定方法は大会長に一任すること、表彰は総会時に行うこととした。

7) 上記の優秀演題賞の新設を受けて、総会は学術集会2日目の昼前後に開催することとした。

8) 高橋(公)評議員より、献腎移植のポイントとして16歳から20歳未満の未成年者には12点加算されるようになったこと、また献腎による先行的腎移植の検討作業が行われていることが説明された。

9) 相川評議員より、国際小児移植学会(IPTA)セミナー（2012年9月23日、名古屋）の案内があった。

(7) 次期会長の挨拶

第34回会長の藤澤正人先生より準備状況が報告された。

平成24年9月13日(木)～9月14日(金)、ホテルニューアワジ（淡路島）

日本小児腎不全学会事務局
議事録作成 服部元史
議事録署名人 高橋昌里
柳原俊雄

